

【資料1】

業種別労働災害発生状況

(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

北海道労働局

業種別	区分	平成27年			平成26年			対前年		業種割合 (%)
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
全産業合計		47	4,147	4,194	45	4,224	4,269	-75	-1.8	100.0
製造業		3	772	775	3	732	735	40	5.4	18.5
	食料品	1	408	409	1	350	351	58	16.5	9.8
	木材・家具		73	73		83	83	-10	-12.0	1.7
	紙・印刷		22	22		10	10	12	120.0	0.5
	窯業・土石		25	25	1	35	36	-11	-30.6	0.6
	金属・機械	1	128	129	1	145	146	-17	-11.6	3.1
	その他	1	116	117		109	109	8	7.3	2.8
鉱業	鉱山					1	1	-1	-100.0	
	土石採取業	2	17	19		16	16	3	18.8	0.5
建設業		21	604	625	16	628	644	-19	-3.0	14.9
	土木工事業	6	197	203	11	201	212	-9	-4.2	4.8
	建築工事業	4	277	281	4	269	273	8	2.9	6.7
	木造建築業	4	68	72		80	80	-8	-10.0	1.7
	設備工事業	7	62	69	1	78	79	-10	-12.7	1.6
道路貨物運送		3	462	465	4	537	541	-76	-14.0	11.1
その他の運輸		3	153	156	1	178	179	-23	-12.8	3.7
陸上貨物取扱		1	28	29		22	22	7	31.8	0.7
港湾運送業		1	7	8		12	12	-4	-33.3	0.2
林業		3	59	62	3	73	76	-14	-18.4	1.5
水産業			101	101	5	100	105	-4	-3.8	2.4
商業		4	601	605	6	610	616	-11	-1.8	14.4
清掃・と畜業		1	251	252		224	224	28	12.5	6.0
上記以外の事業		5	1,092	1,097	7	1,091	1,098	-1	-0.1	26.2

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

【資料1】

業種別労働災害発生状況その2

(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

北海道労働局

業種別	平成27年			平成26年			対前年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
小売業	4	489	493	3	494	497	-4	-0.8	11.8
医療保健業		101	101	2	81	83	18	21.7	2.4
社会福祉施設		210	210	1	199	200	10	5.0	5.0
旅館業	3	76	79		61	61	18	29.5	1.9
飲食店		113	113		120	120	-7	-5.8	2.7
ゴルフ場		30	30	1	39	40	-10	-25.0	0.7
警備業		46	46	1	36	37	9	24.3	1.1

署別・業種別災害発生状況（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	商業	清掃・と蓄業	左記以外の事業	対前年比増減率	
		計	食品製造業	木材・家具	紙・印刷	窯業土石製品	金属・機械	その他製造業	鉱山	土石採取業	計	土木工事業	建築工事業	木造建築業											設備工事業
札幌中央	684	77	33	5	1	2	28	8		69	18	36	9	6	89	52	3		1	1	131	70	191	-2.8%	
	665	67	29	6	1	2	16	13		88	20	40	10	18	61	51	8				124	65	200		
札幌東	828	120	51	6	5	1	38	19		125	40	55	15	15	148	49	12				172	25	177	6.4%	
	881	135	70	3	4	1	30	27		118	34	70	3	11	145	53	16				173	47	194		
函館	326	77	49	8		4	12	4		60	22	24	7	7	26	18	1		8	12	29	17	76	-6.7%	
	304	89	60	7		3	12	7		43	22	13	5	3	33	12	1		6	13	33	22	50		
小樽	132	34	21	2			3	8		13	3	3	5	2	12	5	3		1	1	19	9	34	-9.8%	
	119	35	20	3	3		2	7		14	5	5	3	1	11	3		1			13	8	34		
岩見沢	143	25	10	2		4	3	6	1	31	14	13	2	2	12	4	1		1		21	7	37	-7.0%	
	133	39	12			5	13	9		21	7	9	3	2	13	2			3		13	8	34		
旭川	301	37	14	8	1	3	6	5		59	16	23	10	10	46	10			12		41	16	80	-3.3%	
	291	51	19	11	4		10	7		52	12	16	13	11	32	8			4		43	20	80		
帯広	305	60	35	6		3	7	9		33	7	19	2	5	40	3	1		8	4	37	14	103	3.6%	
	316	67	48	5	1	1	3	9		35	8	17	6	4	39	6			17	2	40	14	91		
滝川	118	24	9	3		2	6	4		27	10	14		3	14	1			3		17	9	23	-0.8%	
	117	24	11	3	2	2	5	1		26	12	11	3		8	2			2	1	13	9	30		
北見	214	49	21	11		4	6	7		50	18	21	7	4	23	3			7	16	23	2	38	-4.2%	
	205	41	20	13		4	2	2		33	9	19	3	2	16	2			4	18	28	12	51		
室蘭	138	24	7	1		2	11	3		24	4	9	6	5	13	4					2	25	7	38	-7.2%
	128	26	10			2	10	4		22	6	10	4	2	9		1				2	21	8	37	
釧路	359	94	56	7	1	4	9	17		59	25	27	3	4	35	9		2	7	27	37	16	72	-1.7%	
	353	82	52	6	1		11	12		64	28	32	2	2	34	7		2	6	38	32	17	69		
名寄	98	25	12	9		1	2	1		18	4	7	2	5	5	2			10	9	4	5	19	-6.1%	
	92	28	16	4		1	4	3		20	7	6	4	3	4	2			4	3	7	2	22		
留萌	37	1	1							7	3	2	2		5	1			3	6	6	1	7	48.6%	
	55	3	3							15	5	6	3	1	8				2	5	7		15		
稚内	70	10	8					2		14	7	4	2	1	7	2			4	11	4	3	15	-11.4%	
	62	11	9					2		14	8	2	4		5				2	9	4	4	13		
浦河	122	3	2	1						12	6	3	3		6	1			5	14	1	1	79	-13.9%	
	105	6	1	4		1				11	4	4	2	1	1				4	8	9	1	64		
苫小牧	331	68	18	13	2	6	15	14		30	14	9	2	5	53	14	1	10	4		44	18	88	-7.6%	
	306	61	21	8	5	2	11	14		31	10	12	2	7	44	8	3	5	4	2	39	13	93		
倶知安	63	7	4	1				2		13	1	4	3	5	7	1			2	2	5	4	21	-1.6%	
	62	10	8		1	1				18	6	9	2	1	2				4		6	2	20		
合計	4,269	735	351	83	10	36	146	109	1	16	644	212	273	80	79	541	179	22	12	76	105	616	224	1,098	-1.8%
	4,194	775	409	73	22	25	129	117		19	625	203	281	72	69	465	156	29	8	62	101	605	252	1,097	
対前年比増減率	-1.8%	5.4%	16.5%	-12.0%	120.0%	-30.6%	-11.6%	7.3%	-100.0%	18.8%	-3.0%	-4.2%	2.9%	-10.0%	-12.7%	-14.0%	-12.8%	31.8%	-33.3%	-18.4%	-3.8%	-1.8%	12.5%	-0.1%	

(注)本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

平成27年における死亡災害発生状況 [速報]

(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

業種	平成27年		平成26年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	47 (8)	100.0	45 (3)	100.0	2	4.4	-3	-7.1
製造業	3 (0)	6.4	3 (0)	6.7	0	0.0	0	0.0
鉱業	2 (0)	4.3	0 (0)	0.0	2	—	2	—
建設業	21 (3)	44.7	16 (2)	35.6	5	31.3	4	28.6
交通運輸事業	3 (1)	6.4	1 (0)	2.2	2	200.0	1	100.0
陸上貨物運送事業	4 (2)	8.5	4 (1)	8.9	0	0.0	-1	-33.3
港湾運送業	1 (0)	2.1	0 (0)	0.0	1	—	1	—
林業	3 (0)	6.4	3 (0)	6.7	0	0.0	0	0.0
その他の事業	10 (2)	21.3	18 (0)	40.0	-8	-44.4	-10	-55.6

(注)1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

平成27年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

北海道労働局

(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

業 種	平 成 27 年		平 成 26 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	10 (2)	100.0	18 (0)	100.0	-8	-44.4	-10	-55.6
卸売業又は小売業	4 (0)	40.0	5 (0)	27.8	-1	-20.0	-1	-20.0
医療保健業	0 (0)	0.0	2 (0)	11.1	-2	-100.0	-2	-100.0
社会福祉施設	0 (0)	0.0	1 (0)	5.6	-1	-100.0	-1	-100.0
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
ビルメンテナンス業	1 (0)	10.0	0 (0)	0.0	1	—	1	—
ゴルフ場の事業	0 (0)	0.0	1 (0)	5.6	-1	-100.0	-1	-100.0
警備業	0 (0)	0.0	1 (0)	5.6	-1	-100.0	-1	-100.0
農業・畜産業	1 (0)	10.0	1 (0)	5.6	0	0.0	0	0.0
水産業	0 (0)	0.0	5 (0)	27.8	-5	-100.0	-5	-100.0
その他	4 (2)	40.0	2 (0)	11.1	2	100.0	0	0.0

(注)1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

【資料5】

平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

北海道労働局

事故の型番号	業種	製造業	鉱山業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	道路貨物を除く運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	漁業	その他の事業業	起因物番号	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99
													起 因 物	原 動 機	力 電 動 機	木 材 加 工 機 械	建 設 用 機 械	金 属 加 工 用 機 械	一 般 動 力 機 械	車 両 系 木 材 伐 出 機 械 等	動 力 ク レ ー ン 等	動 力 運 搬 機 物	乗 力 器 器	圧 力 容 器	化 学 容 器	溶 接 装 置	炉 ・ 窯 等	電 気 設 備	人 力 機 械 工 具 等	用 具	そ の 他 の 装 置 設 備	仮 設 物 ・ 建 築 物 ・ 構 築 物 等	危 険 物 ・ 有 害 物 等	材 荷 料	自 然 環 境 等	そ の 他 の 起 因 物	起 因 物 な し	分 類 不 能	
1	墜落・転落			1	8		1			1		2	13				1												3		6				1				
2	転倒																																						
3	激突																																						
4	飛来・落下				2							1	3							1																			
5	崩壊・倒壊	1				1		1		1			4																										
6	激突され				1								1								1																		
7	はさまれ・巻き込まれ			1	2				1			2	6				2		1																				
8	切れ・こすれ																																						
9	踏抜き																																						
10	おぼれ	1										1	2																										
11	高温・低温の物との接触											1	1																										
12	有害物との接触						1						1																										
13	感電				2							1	3														3												
14	爆発																																						
15	破裂																																						
16	火災	1			3								4												4														
17	交通事故(道路)				3	2	1					2	8									5	3																
18	交通事故(その他)																																						
19	動作の反動・無理な動作																																						
90	その他										1		1																										
99	分類不能																																						
	合計	3		2	21	3	3	1	1	3		10	47				3		1		2	10	3			4		3		3	2	6	1	2	2	5			

前月把握分

【資料6】

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	9	16時台	食料品製造業	50人以上 99人	おぼれ	その他の装置、設備	被災者は、醤油を製造するためのもろみを入れてある発酵タンクの攪拌作業を行っていたが、発酵タンク内(幅約5m、奥行き約5m、深さ約3.5m)に浮かんでいるところを発見されたもの。
27	9	14時台	土木工事業	30人以上 49人	激突され	動力クレーン等	排水路工事において、排水路の法肩上に設置したドラグショベルを移動式クレーンモードで使用し、排水路上から排水路内へ鉄板を下ろす作業中、鉄板をつり上げて旋回した際に地盤が緩んでいたため移動式クレーンが傾き、排水路内にいた被災者の方向に鉄板が振れ、被災者が鉄板と砂防ダムの上に挟まれたもの。
27	9	2時台	建築工事業	10人以上 29人	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、7階建てのビルに隣接する鉄骨造の立体駐車場の解体工事現場において、鉄骨の外周に設置されている壁パネルの撤去作業中、ビルの屋上から25.4m下方の地上に墜落したもの。
27	9	10時台	林業	10人未満	崩壊・倒壊	環境等	伐採現場において、被災者が木の下敷きになり倒れているのを、同僚が発見したもの。災害発生現場の状況から、被災者が木を伐倒した際に、伐倒した木にかかっていた木(風倒木)も倒れたため、かかっていた木の下敷になったと推定される。
27	9	18時台	道路貨物運送業	10人未満	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者はダンプを運転し国道の緩い右カーブを走行中、対向車のトラックがUターンを行うために中央分離帯の切れ目からはみ出し対向車線に進入したため、衝突したもの。